

# 支援事例

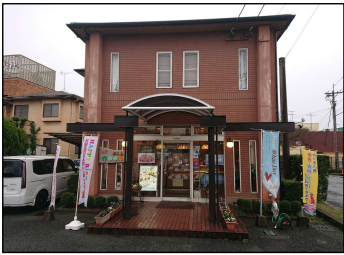
| 商工会名  | 菊池市 商工会   | 氏名 | 田代 晶大                   | 情報開示の可否 | 可 |
|-------|-----------|----|-------------------------|---------|---|
| 支援テーマ | 販路拡大・販路支援 | 題名 | バリアフリー化による販路開拓とデジタル活用支援 |         |   |
|       | 持続化補助金    |    |                         |         |   |
|       | DX・IT化支援  |    |                         |         |   |
|       |           |    |                         |         |   |

## <支援企業の概要>

| 事業所名 | 洋菓子工房森と山 | 従業員     | 1 人 | 創業/<br>会社設立 | 創業日    | 1994年12月3日 |
|------|----------|---------|-----|-------------|--------|------------|
| 業種   | 菓子製造小売業  | うち家族従業員 | 1 人 | 業歴          | 30年3ヶ月 |            |

### ○企業概要

●事業内容：ケーキ、焼き菓子類、マカロン、お米のロールアイス等の洋菓子製造販売  
●営業時間：午前10時～午後8時 週6日営業（定休日：水曜日）  
●体制：パティシエ1名（代表）接客・事務（姉）●商圏：菊池市を中心に周辺市町  
●客層：個人95％・以外5％●男女比：女性80％・男性20％●主要顧客：30～40代女性  
無添加材料による体に優しい商品づくりのため、熊本県産の卵や米粉、地元産フルーツ等を使用しており、地産地消を心掛けている。接客は、お客様とのコミュニケーションを重視しており、コンビニでは行えないような心が通じ合う温かい対話でお買い物を楽しんでいただくことを大切にしている。



### ○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

創業して30年目を迎え、当初の主要顧客が現在70～80代となり高齢化が進み来店頻度の減少が見られている。  
このような中、店舗入口の段差で転倒したお客様から来店に不安を抱える声を聞き安心して来店できるよう店舗のバリアフリー化の必要性が生じていた。  
また、若年層など新たな顧客獲得が急務となっているが、広報活動が不十分であることから、SNS等を活用した店舗や商品PRを行う必要性が生じていた。  
そこで、経営支援プログラムを作成し、スケジュールや支援メニューを明確にして取り組んでいくこととなった。

### ○支援内容および支援後の状況・効果

支援内容としては、店舗入り口のバリアフリー工事、スポットライト設置、のぼり旗の作成に関しては、小規模事業者持続化補助金を活用することが可能であることを説明した。第15回から電子申請のみとなったため、パソコン操作から支援し補助金申請を自ら行えるような支援を心がけた。  
また、SNS等による広報については、くまもと中小企業デジタル相談窓口を活用し、専門家からInstagramの導入支援を受け、ショート動画等を事業者自ら作成することが可能となった。  
経営指導員としての関わり方は、Instagramを毎日アップしていくことを確認する管理的な役割を行っている。  
さらに、この取り組みをデイサービス等の買物支援とタイアップできるよう福祉施設に周知するためのチラシを「Canva（キャンパ）」で作成出来るよう支援を行っている。



事業者が作成したInstagram

### ○今後について（目標や課題など）

事業者との対話から課題を抽出し、自らが課題の必要性を感じ取りその課題を解決する力を養うことが重要と思っている。  
「援助」は、事業者が行う事柄を職員が代わりに行うことであり、「支援」は、事業者が行う事柄を事業者自ら出来るよう職員が手助けすることだと考えている。今後は、事業者の「自走化」支援を心がけていきたい。